

演習追加問題(明・清)

【1】

上智大学 法学部(法律学科)

[設問 I] 明王朝にかかわる次の事項(イ～ル)は、それぞれ下記の選択肢(a～f)のどの皇帝(の時)のことか。
なお、正解がない場合はgをマークしなさい。

- イ 皇帝がオイラトのエセン＝ハンによって、土木堡でとらえられた。 e 正統帝
ロ 南京から北京に首都を遷した。 a 永楽帝
ハ 里甲制を制定し、賦役黄冊を作成した。 c 洪武帝
ニ 豊臣秀吉の軍に侵略された朝鮮王朝の要請で、援軍を派遣した。 b 万暦帝
ホ 諸王勢力の削減をはかった皇帝に対し、燕王が挙兵した。 f 建文帝
ヘ 張居正が出て、中央集権的な財政の立て直しをはかった。 b 万暦帝
ト 宦官の鄭和に命じ、艦隊をひきいて遠征を行わせた。 a 永楽帝
チ 李自成の反乱軍に北京を占領され、皇帝がみずから命を絶った。 d 崇禎帝
リ 『四書大全』『五経大全』などの編纂事業が行われた。 a 永楽帝
ヌ 民衆教化のために、六カ条からなる教訓、六諭を定めた。 c 洪武帝
ル 中書省を廃止して六部を皇帝の直属下においた。 c 洪武帝

a 永楽帝 b 万暦帝 c 洪武帝 d 崇禎帝 e 正統帝 f 建文帝

【2】

明治大学 農

次の文章(1～2)を読み、以下の設問(1～10)に答えなさい。

1

モンゴル民族の立てた元から漢民族の明(1368～1644年)になると、外国との関係も大きく変わった。明は一方で^(ア)海禁政策を取りながら、他方で朝貢貿易を行い、また(1)鄭和を指揮官とする南海諸国遠征を7回にわたって試みた。外国との貿易によって大量に輸入された^(イ)銀は明の経済を支え、^(ロ)経済発展を促した。しかし、北虜南倭と呼ばれる外国からの侵入は明を悩ませ、明の衰退を早めた。なかでも明の北部で皇帝が(2)オイラトの捕虜となった土木の変(1449年)は有名である。

問1 下線部(ア)に関連し、明の時代の貿易についての説明で、誤りのあるものを以下から一つ選べ。

- A 海禁とは、私的な海外渡航や海外貿易の制限をいう。
B 朝貢貿易では、返礼品が朝貢国の大きな利益となった。
C 朝貢貿易は、ヨーロッパ人には適用されなかった。
D 勘合貿易では、正規の貿易船であることを示す割符が用いられた。
E 周辺国との間で形成された国際秩序を、冊封体制という。

問2 空欄(1)に最も適するものを以下から一つ選べ。

- A 鄭和 B 張居正 C 宋応星 D 顧憲成 E 鄭成功

問3 下線部(イ)に関連する説明として、最も適したものを以下から一つ選べ。

- A 元の時代は銀ではなく、主に金が流通していた。
B 「湖広熟すれば天下足る」とは、銀が流通して経済が安定したという意味である。
C 金・銀・銅の精錬や鑄造技術を説明した『天工開物』は李時珍が著した。
D 一条鞭法は税を一括して銀で納めるという税制である。
E メキシコ銀と交換に輸出されたのは、主に米であった。

問4 下線部(ウ)に関連し、明の時代の経済についての説明で、誤りのあるものを以下から一つ選べ。

- A 新安(徽州)商人が活躍した。
- B 会館・公所とは商工関係の同業者・同郷者が建てた建物である。
- C 山西商人が活躍した。
- D 地丁銀とよばれる貨幣が流通した。
- E 景德鎮では陶磁器が生産された。

問5 空欄(2)に最も適するものを以下から一つ選べ。

- A タタール B オイラト C 女 真 D ツングース E 匈 奴

2

明末に興隆した女真族は清(1616～1912年)を建てた。清は1683年に台湾を領土とし、支配地域を拡大していった。ロシアとは1689年に(3) ネルチンスク 条約を締結して、国境を画定した。さらに外モンゴルなどを加え、(イ) 清の領土は18世紀に最大となった。

明の時代から活動していた(ロ) イエズス会宣教師は、清においても活躍した。しかし、典礼問題をきっかけに、清はキリスト教布教を禁止した。

清の支配が安定して海禁が解かれる(1684年)と、貿易はさらに盛んになった。(4) 広州 は1757年から清でただ一つの外国貿易港であった。ここで活動していた(ハ) イギリスは18世紀後半から三角貿易を始めた。これがアヘン戦争の遠因となり、戦争に負けた清は1842年に南京条約を結んだ。

問6 空欄(3)に最も適するものを以下から一つ選べ。

- A イ リ B アイグン C キャプタ D ネルチンスク E 北 京

問7 下線部(エ)に関連し、清の領土や属国についての説明として、誤りのあるものを以下から一つ選べ。

- A 直轄領とされたのは、中国内地・東北地方・台湾である。
- B 外モンゴル・チベット・新疆・青海を総称して藩部という。
- C 朝貢国としては、朝鮮・ベトナム・タイ・ミャンマーなどがある。
- D 琉球は日本と中国に両属した。
- E 領土は南アジアではムガル帝国、西アジアではオスマン帝国と接した。

問8 下線部(オ)に関連し、イエズス会宣教師の活動の説明として、誤りのあるものを以下から一つ選べ。

- A イエズス会の最初の中国伝道者はフランシスコ＝ザビエルである。
- B アダム＝シャルは『崇禎暦書』の作成に関わった。
- C 『坤輿万国全図』はマテオ＝リッチによる漢訳の世界地図である。
- D 徐光啓は『幾何原本』の翻訳に関わった。
- E カステリオーネは円明園の設計に参加した。

問9 空欄(4)に最も適するものを以下から一つ選べ。

- A 福 州 B 広 州 C 厦 門 D 寧 波 E 上 海

問10 下線部(カ)に関連し、イギリスと明・清との関係についての説明として、最も適したものを以下から一つ選べ。

- A 明の時代にポルトガルはマカオを、イギリスは香港を拠点とした。
- B イギリスはラクスマンを清に派遣し、貿易の拡大を交渉した。
- C 三角貿易で運ばれたのは、綿製品・アヘン・生糸である。
- D イギリスは南京条約によって最恵国待遇を認めさせた。
- E イギリスはアヘン戦争後、アロー戦争をおこし、天津条約を結んだ。

【3】

京都府立大学 文

明代後期における商工業の発展について、200 字以内で論述せよ。なお、論述するにあたっては、下の語句をすべて使用し、使用した箇所には下線を引いておくこと。句読点やカッコ、数字は、それぞれ 1 字として数える。

会館

銀

山西商人

長江下流域

綿花

長江下流域では綿織物などの家内制手工業がさかんとなり、原料の綿花栽培が広まった。商業・手工業の発展にともない、政府と結びついた山西商人や新安商人などの特権商人が全国的に活動した。同郷・同業の商工業者は互助や親睦のため、大都市に会館・公所をつくって活動拠点とした。生糸や陶磁器が海外に輸出された結果、大量の銀が流入したことから銀が貨幣として流通し、一条鞭法により税も一括銀納と定められた。

(別解)

稲作の困難な地域では綿花や桑の栽培が普及し、綿織物・絹織物などの家内制手工業が長江下流域でさかんとなった。内陸部出身の山西商人や新安商人が全国的に活動し、商工業者は同郷・同業の互助・親睦のための会館・公所を大都市につくって活動拠点とした。生糸や陶磁器が海外に輸出された結果、大量のメキシコ銀・日本銀が流入した。このため銀が貨幣として流通し、納税も銀で納入する一条鞭法がしだいに広まった。

【4】

筑波大学

次の問について、400 字以内で解答しなさい。なお、解答文中では指定された語句に下線を施すこと。

14 世紀なかばから 18 世紀末にかけての明・清の海上貿易管理体制について、それに対する国家・集団の動向に注目しながら、以下の語句を用いて説明しなさい。

海禁政策

後期倭寇

公行

台湾

琉球王国

(解答例)

14 世紀なかばに明朝を立てた洪武帝は、海禁政策をとって民間人の海上貿易を禁じ、政府の管理する朝貢貿易を推進した。15 世紀初めに成立した琉球王国は、明朝の冊封を受けて朝貢貿易に加わり、中国と東シナ海・南シナ海とを結ぶ中継貿易を行って繁栄した。しかし、16 世紀になると密貿易を行いながら中国沿岸を襲撃する後期倭寇の活動が激化して明朝を苦しめ、明朝はやむを得ず海禁を緩めた。17 世紀なかばに明朝が滅亡して清朝が中国に進出すると、鄭成功とその一族が武装貿易船団を率いて抵抗を続けたため、清朝は厳しい海禁によってその財源を絶ち、鄭氏を降して台湾を占領した後に海禁を解除して海上貿易を推進した。18 世紀なかばに乾隆帝はヨーロッパ船の来航を広州 1 港に制限し、公行という特定の商業組合に貿易を管理させた。18 世紀末にイギリスはマカートニーを清朝に派遣して、広州以外の開港など貿易の拡大を要求したが、乾隆帝はこれを拒否した。